

## 雇用環境の改善により若者や女性を積極採用 1対1の徹底したOJTで一流の技術を承継

海外有名ブランドのインポートバッグおよび革製品の修理全般を行っている。顧客が大切に使ってきた品物をただ修理するのではなく、修復箇所がわからないほど自然な仕上がりにすることでより一層愛着を感じ、末永く使ってもらえる商品に生まれ変わらせる「復元」にこだわり続ける。全社員の3/4を占める熟練職人の手作業と厳しい品質管理で、トップブランドの品格を損なわない高い品質を維持し、海外有名ブランド革製品の修理市場において国内トップシェアを誇っている。ブランドジャケットやニット製品のリペア事業にも着手。

所在地 大阪府八尾市光南町2-5-1  
電話/FAX 072-994-1106 / 072-994-5025  
URL <https://www.leather-art.co.jp/>  
代表者 代表取締役社長 井上 富雄

設立 1961年  
資本金 1,000万円  
従業員数 122人



### 男性が多かった職場を、若者、女性、外国人が活躍できる職場に変革

京都、大阪の美術大学や服飾専門学校等へ積極的に出向いて企業説明を行い、若者を採用する体制を確立した他、靴職人として外国人（ベトナム、韓国）も活用。従来、男性職人の多い職場だったが、育休後の時短制度や雇用環境を改善する等により、現在では社員の3割を女性が占めている。加えて、子供が1歳になるまで取得可能な育休は、保育施設が確保できない場合は延長でき、さらに時短勤務は子供が小学校を卒業するまで可能とする等、女性や若者、外国人を登用するための取組を積極的に行っている。



若者、女性を職人として積極的に採用

### 意思決定体制の柔軟化と社員発案の社内改革で、働き方改革を推進

残業時間削減のため、チーム間で業務を融通する制度を導入。現場で臨機応変に調整できるよう、別チームに人を移動させる権限を経営者から部長に委譲。業務量と残業の管理も各チームリーダーに行わせることで、会社全体平均として20時間/月以下まで抑制。また、予算枠100万円の社内企画を募集し、社員から持ちあがった「日本で入手できない金具パーツの買付企画」をその後の定期的な購入ルートとして定着させ、週1回の「気づき」の時間で出た環境改善の要望を実行する等、積極的に社員の声を経営に反映。



週に1回実施する「気づき」の時間

### 専門分野のプロを育成し、徹底したOJTで技術継承を実現

職人をあえて多能工化せず、専門職人として一流アイテムに対応できる技術を磨く。可能な限りアイテムのオリジナル性を保つため、最小限の修理箇所かつ手作業にこだわっている。同じ商品でも破損状態やアプローチ法が異なるため、それが職人の技能発展・ノウハウとなって蓄積する。そのため、一人の新人に対して一人の職人が師匠として指導を行い、徹底したOJTで技術承継に努めている。靴の構造や革の性質等の修理に関する一般的な知識は、社員自らが自身の知識も加えて教材化し、社内研修を実施している。



社員自身が作成した社内研修教材